

昨日までの自分らしさが

何かの拍子に別の自分になっている

先のことは何もわからない 何も見えない
考えたくても 考えられない

立ち止まりたくても 止まらない

止まるとみんな先に行ってしまう

どう見られているかが気になって

気持ちと動きが空回り

お父さんお母さんの気持ちはわかるけど

わたしの気持ちもわかってほしい

あんなに輝いて見えたまわりの景色が

こんなにかすんで見えなくなって

何かをしても じっとしても おちつかない

でも あせらないで

そう できることから始めて

3歩進んで2歩さがる 行ったり来たりでも

少し進んで何かに気づく 思いがけず発見する

ふと やりたいことが 見えてくる

その先にあなたの輝きがある

その向こうにあなたの未来がある

みんなと違うことはそんなに悪くない

自分にしかできないことは無限にある

学校にこんな場所があったんだ

校内に居場所を作ることはできないだろうか。・・・。
前へ進んだり後ろへ下がったりすることはあるけれど、
あわてず、あせらず、少しずつ、ゆっくりとステップア
ップできる場所を作れたら・・・。

想いを形にしようと、令和3年10月当時のパソコン
室に開設しました。

部屋に来た生徒たちは部屋の中を飾りました。居心
地のいい場所にしようと過ごし方を考えました。個々
の学習は大切。そして一緒に何かをすることはとても
大切。撮った写真を見せ合ったり、布や毛糸で手芸を
したり、レジンや水引で小物を作ったり、折り紙や色
紙で図書室の装飾を手伝ったり、調理しておやつを作
ったり、決めたテーマについて調べてプレゼンテーシ
ョンしたりしました。カードゲームなどの遊具。運動
ができる用品。校外学習や講師を招いてモノ作り。種
から花を育て、球根を植え、花壇を作り、草花は来校
者の目を楽しませてくれました。

自分と向き合う時間を大切に。新しい何かを創造す
るには、少しの勇気があればいい。前を向いたら何か
に出会う。前を向いたら何かが変わる。

・・・いわゆる頭のいい人は 足の速い旅人のようなも
のだ 人より先にまだ行かないところに行き着くことが
できる 代わりに途中の道ばた ちょっとした脇道にあ
る肝心(大切)なものを見落とすおそれがある 頭の
悪い人 足ののろい人がずっとあとから来て わけも
なくその大事な宝物を拾って行く・・・ 1931年10月
寺田寅彦(物理学者)「科学者とあたま」より

*** 校内教育支援センター ***

ステップアップルーム

SUR

学校に行きたいけど行きづらい
教室に入りたいけど入りづらい
よくわからないけど不安な気持ち
でも、学校には行かなければ・・・

まず この部屋へ来て 見て

ホッとできる
学校での居場所
自分で考えて
まずはやってみて

そして社会的な自立に向かえたら

成田市立公津の杜中学校

☎ 0476-20-5511

教頭・SUR担当まで

R7. 4作成

部 屋 の 目 的

- ☆ 学級で生活がしづらい生徒の校内の居場所です。
- ☆ 自分の目標で活動し、先生や友だちとの関わりを目標にします。(自己決定・社会性)
- ☆ 社会的自立(学級復帰を含む)に向けて支援します。

部 屋 の 生 活

1. 開室時間は7時50分から15時45分まで。
(時間割で異なる)
2. すごし方
 - (1) 出入りする時、挨拶し、行き先を告げます。
 - (2) 入室したら予定を考え、予定表に記入します。
 - ①原則として各自の目標、計画により自分のペースで学びます。
 - ②1授業時間を単位に学習や活動を進めます。
 - * 1・2時間目は、個別学習の時間。
 - 3・4時間目は、個別の課題の時間。
(共同活動可)
 - 5・6時間目は、テーマ学習、作業など共同活動などを行うことがある。
(参加しない場合は相談)
 - *集会や式典、行事、総合的な学習などではできるだけ参加。教科の授業も出てみようと思う時は行くことができる。
 - *校外学習や外部講師による活動などを行うことがある。
 - *定期テストや実力テストなどは、実施当日にこの部屋で受けることができる。
 - (3) 個人を尊重し、お互いに配慮して落ち着いた

環境作りをめざします。利用する人それぞれが、さまざまな事情や思いがあって来ているので、お互いに声や音に気遣います。

- (4) 入室・退室時間をホワイトボードに自分で記入します。
- (5) 遅れて登校したり、具合が悪くて早退したりする場合は、部屋に来て記録票に記入してその時間を担当する先生に渡します。担当する先生が学級担任に伝えます。

3. 担当する先生

- (1) **運営者** 部屋を運営し、利用者を支援します。校内の連絡調整をします。
- (2) **支援者** 利用者とかかわり、活動を提案したり、一緒に活動したりします。
- (3) **担当者** 各教科の先生が来ます。教科の学習やその先生ができることを教えてくれます。

利 用 や 手 続 き

1. **一時利用者** 必要な場合や緊急時などに利用できます。部屋で過ごすことが基本です。利用は学級担任と相談してください。見学や体験をして一時利用者になります。
2. **利用者** 一時利用者を経て入室を希望する場合、本人・保護者・学級担任・担当者と面談して、保護者が「入室申請書」(申請年度ごとに区切る)を提出します。

※社会的なルールを守れない、部屋の目的以外の理由(例えば出席日数だけ増やしたいなど)を目標にする場合は、この部屋は向きません

Q: 部屋では授業はありますか?

A: 教室で行うような授業はありません。自分で計画を立てて生活します。希望により5教科の授業をリモートで行うことができます。参加したい自分のクラスの授業に出ることもできます。

Q: クラスのような学級なのですか?

A: 学級ではないので「担任」はいません。自分の学級担任の先生が「担任」です。学級の配布物などの受け取りをどうするかは、学級担任と相談しましょう。

Q: ルールはありますか?

A: 基本は学校のルールと同じです。すごし方で気をつけることは利用するときに説明があります。

Q: 遅刻や早退はできますか?

A: 自分の目標時間で生活できます。登下校時刻以外に登下校する場合、体験時に時間を設定し、登下校時に記録票に記入して先生に渡します

Q: 給食や掃除はどうするのですか?

A: 部屋で食べることができます。給食を食べる場所や受け取りは、学級担任と相談しましょう。清掃は部屋の先生の指示で行います。

Q: 行事や集会などはどうするのですか?

A: クラスとは別の場所で参加したり見学したりすることができます。参加のしかたは、部屋の運営担当の先生や学級担任と相談して決めます。

Q: 成績はどうなるのですか?

A: 教室で授業を受けないので、他の生徒と同様に評価・評定ができません。教科担任は可能な限り評価できるので、積極的に関わりたいです。